6月28日（金）命の話

『正解のない問題集』から、命についての話です。

サラは、大のおばあちゃん子。おばあちゃんが大好きです。そのおばあちゃんが、余命宣告を受けました。（「あと○ヶ月しか生きられない」など言われること）

サラは、おばあちゃんに会うたびに「早く治療して、長生きしてよ」と伝えています。しかし、おばあちゃんは笑ってごまかすばかりです。

言うことを聞いてくれないことに、サラはもどかしさを感じます。でも、どこかすがすがしい感じのおばあちゃんを見て、これ以上は言わない方が良いのかな、とも思うのです。

さて、皆さんはどう考えますか。大好きなおばあちゃんは、治療をするつもりはなさそうです。治療しなければ、死んでしまいます。それでいいのでしょうか。おばあちゃんが「治療するよ」と言うまで、もっとしつこくサラは言った方が良いのでしょうか。治療するかどうかを決めるのは、誰なのでしょうか。とっても深い問題だと思います。

村越　新